

飯豊山山行報告

【山行日】2022年 9月 3~4日(土日)

【集 合】栃木市運動公園P AM 3:00

【費 用】マイカー1台 : 10,300円

【メンバー】CL:鈴木 SL:廣瀬、

石澤、小林、関、福島、

3日 曇り時々雨 大日杉登山口から地藏岳、
切合小屋経由で飯豊本山にピストンで登り、飯豊
本山小屋へ宿泊する。

栃木市運動公園P3:00=大日杉登山口P

6:20/6:40~地藏岳 9:20/9:30~御坪 11:10~

切合小屋 12:10/12:40~本山小屋 14:30/14:50~

飯豊本山 15:10/15:20~本山小屋 15:50



4年前に計画したが途中で断念し、登山口の大日杉小屋で宴会をして帰ってきた。

今回は同じコースで計画したが、健脚揃いなので1日目に飯豊本山小屋まで行く計画にした。

栃木市運動公園を3時に出発し、東北道から東北中央自動車道の無料区間を走り、米沢八幡原ICで降

り国道121号線を会津方面に向かう。途中から右折し県道4号線を進み、大規模林道飯豊桧枝岐線
を通過して大日杉登山口駐車場に着く。広い駐車場
に車は数台しか止まっておらず、車を止めたら出発
の準備をする。準備が出来たら大日杉小屋まで行
き、トイレを済ませストレッチを行って出発する。

大日杉小屋前の広場から、案内標識に従って登山
道に入る。スギ林を抜けると直ぐにブナ林に変わり、
ザンゲ坂の急な登りが始まる。ゆっくり登って行き、
急な岩場はクサリを頼りに登り切ると尾根上に出る。
傾斜が緩やかになり、尾根上を進むと長之助清水
に着き小休止する。チタケが採れたとSさんがニコ



ニコ顔で登って来たので、ここにもいっぱい有るよと言ってチタケを採った。ここから地藏岳までの登山
道はチタケを採りながら歩き、皆さん楽しそうに登って行く。チタケ採りのお蔭で、疲れを感じず地藏岳
に着くことが出来た。山頂で小休止して、果物や菓子を食べて水分を補給する。地藏岳を下ると、コース

は御坪に向けてアップダウンを繰り返しながらの
稜線歩きとなる。途中から雨が降り出してきて、
レインウエアーの上衣を着る。ブナやダケカンバ、
サラサドウダン等の自然林の稜線をアップダウン
を繰り返し進むと目洗清水に着く。さらに緩やか
なアップダウンを繰り返し進むと、大きなダケカン
バの林が現れ祠が建つ御坪に着く。ダケカンバ
の白い木肌の向こうに飯豊の山並みが見えるは
ずだが、あいにくの雨で視界が得られず見るこ
が出来なかった。ここで昼食を食べる予定だっ
たが、雨が降っているの切合小屋まで行って食
べることにする。ここからダケカンバの道をしば
らく登り、鞍部まで下って沢を渡る。

ここから傾斜湿原のお花を見ながら登ると、三国岳からのコースと合流する。



大日岳の展望が一気に開け、広い砂礫地を進むと切合小屋に着く。切合小屋のベンチでランチタイムとし、お湯を沸かしてカップ麺やスープを作り美味しくいただいた。ランチが済んだらトイレを借りて、飯豊



本山小屋に向かって出発する。切合小屋からタカネマツムシソウやウメバチソウの花を見ながら、ゆっくり登ると展望が良い草履塚に出る。

雨が上がり、飯豊本山や大日岳を視界に入れながら鞍部まで下ると、姥権現の石仏が待っていた。

この先は本日のコース一番の難所、御秘所の岩稜を通過するが今回のメンバーは難なく通過する。

ここからいよいよ御前坂の急登が始まるが、休憩して一息いれて気合を入れる。岩交じりの急坂をジグザグに登って行くが、重いザックが肩に食い込み

てもキツイ登りだ。左手の大日岳に連なる山々の雪景色に癒されながら、一步一步着実に高度を上げて行く。

やがて石垣の積まれた一ノ王子に出れば平坦な道となって、水場の標識を過ぎると飯豊本山小屋に着く。小屋で宿泊の受付を済ませ、指定された場所に荷物を置いてマットを敷き場所を確保する。明日の早朝の天気は分からないので、とりあえず飯豊本山の山頂に登ることにして出発する。

ガスが出て来て視界が悪いが、小屋と飯豊山神社の間を進み山頂に向かう。平坦な道を緩やかなアップダウンを繰り返し進むが、ガスで視界が効かず何も見えない。

ようやく山頂標識が立つ頂上に着いたが、何も見えず記念写真を撮ったら来た道に戻る。本山小屋まで戻り、夕食の準備に取り掛かる。3人は水場に水汲みに行き、残った人は持って来た食材を出して鍋をコンロに掛ける。本日のメニューは水炊きと五目御飯、ゴーヤのサラダである。鍋に鶏肉と白菜、水菜、ネギ、キノコ、白滝、豆腐などを入れ煮立つまで待つ。煮上がったら器に取り分け、ビールやお酒で乾杯し宴会が始まる。会話が弾み皆さん笑顔で美味しく飲んでる。これがあるから、重い荷物を背負って登って来られるのだ。お代わりしてアツと言う間に鍋が空になり、残ったシメジや野菜を追加するが、煮上がると直ぐに無くなる。皆さん食欲旺盛で酒の肴がすぐに無くなり、乾きものつまみで焼酎をいただいた。宴会が終わったら後片付けをして、明日の早出に備えてシュラフにもぐり込んだ。



4日 晴れ 風雨が強く、御西岳まで登るのを断念し、本山小屋から往路を戻り大日杉登山口へ下山し白川温泉で汗を流して栃木市運動公園へ帰着する。



本山小屋 6:55～切合小屋 8:10/8:20～御坪 9:00～地藏岳 10:50/11:00～大日杉登山口 P12:35/13:10＝白川荘 13:35/14:20＝栃木市運動公園 P18:00

朝4時に起きて朝食を食べ、5時に御西岳に向かう予定だったが、風雨が強く出発を断念した。

5時までもう一度寝て、朝食の準備に取り掛かる。お湯を沸かしてアルファー米でご飯を作り、昨夜の水炊きの汁に入れて雑炊を作る。お惣菜はポイルウイナーとジャコとくるみの佃煮、カニカマボコと豪華な朝食となった。朝食が済んだら、後片付けと出発の準備をして天気の回復を待つ。

6時30分過ぎに雨が止み、風も弱くなって陽射しが出てきた。外に出てストレッチを行い、7時前に小屋の主人に挨拶し出発する。青空が見えるようになり、飯豊本山や雪を抱いた大日岳等の山々が輝いて



美しい。昨日苦労して登った御前坂の急坂も、景色や花を見ながら軽快に下って行く。晴れるとマツムシソウやミヤマアキノキリンソウ等の花が、一段と鮮やかに見え美しい。下り切った案内標識で休憩し、振り返って飯豊本山をバックに写真に収める。陽射しを受けて残雪の大日岳が輝いて見え、木々や花々も元気に生き生きとしている。御秘所の岩場も軽快に越えて、下った所にたたく姥権現も赤いエプロンが良く似合う。姥権現と一緒に記念写真を撮り、そこから登り返すと草履塚のピークに出る。昨日は気が付かなかったが、草履塚は1908mのピークで360度の大展望が得ら

れる。特にここから見る飯豊本山は、ドッシリと構え量感溢れる山容が素晴らしい。草履塚を後にして、お花畑の斜面をゆっくり下って行くと切合小屋に着く。

小休止してトイレを借り、衣服調整したら出発する。少し登ると三国岳への分岐に出て、左に大日杉登山口に向かって進む。お花畑の草地を下り、御沢を渡ると急な登りになる。すぐに稜線に出て、ダケカンバの林が現れると御坪に着く。小休止してゼリーや菓子をいただき、エネルギーを補給したら出発する。ここからはアップダウンを繰り返す尾根歩きで、陽射しを受けて暑さとの戦いになる。地藏岳まで登り返せばと頑張るが、いくつもピークを越えて行くが、ピークは地藏岳ではなかった。長い急坂を登るとセンジュガンピの白い花が現れ、地藏岳だと確信して



頑張るとようやく地藏岳に着いた。大休止して残りのおやつをいただき、水分を補給したら下山開始する。ここからは下りだけとなるので、少しは楽になると思ったが甘かった。

陽射しが強くなり、高度が下がるので気温が高く、下りでも大汗をかいて降りて行く。ザンゲ坂のクサリ場も手強く、慎重にスタンスを選んで降りて行く。傾斜が緩くなり、小沢を渡ると平坦な道に出て、大日杉小屋の広場に着く。ベンチでランチと思ったが、陽射しが暑いので日陰の芝生に座ってランチをいただく。ランチが済んだら車に移動し、靴を履き替えて荷物を積み込み温泉へ

向かう。途中にある白川温泉白川荘に寄り、ゆっくり温泉に浸かって山の疲れを癒す。白川温泉を後にして帰路につき、米沢八幡原ICから東北中央自動車道に入り、東北道を進んで那須高原SAで買い物とトイレ休憩をとる。途中、宇都宮IC付近から渋滞があったが、大した渋滞ではなく予定より早く栃木市運動公園へ帰着し、3年前のリベンジをはたすことが出来た。